

令和元年5月20日

農作物生育・技術情報1号

日高農業改良普及センター日高西部支所
JAびらとり JA門別町

1 水稻生育状況（5月15日現在）

苗の生育は平年並みに推移しています。

目標葉数を確保（中苗→3.1葉以上）したら、昼夜ハウスを解放し、積極的に外気に慣らしましょう。移植2日前頃からはたっぷりかん水し、白根を出してから移植すると活着が良くなります。

育苗日数が長くなることが予想されるハウス（は種から移植までの日数が35日以上になる場合）では、老化苗対策として追肥を検討しましょう。

品種名	生育状況			遅速 日数	苗質の目標（移植時）
	項目	R1年	平年		
ななつぼし	草丈 葉数	10.3cm 2.8葉	10.5cm 2.9葉	±0	中苗:草丈10~12cm、葉数3.1葉~ 成苗:草丈10~13cm、葉数3.6葉~

移植後は水温を確保し、速やかな活着と初期生育を促しましょう。

時期	目標水温	水深	水管理の注意事項
移植直後~ 2日目	22~25℃ 最低15℃以上	通常2~3cm ※1	・移植直後は、速やかに入水して苗を落ち着かせ、低温や風の強い日は苗が埋没しない程度の深水管理で苗を保護する。 ・2日目以降、晴天時は通常2~3cmの浅水管理にする。
移植3日目 ~活着まで		通常3~4cm ※1	・畦畔等に漏水がないか確認する。 ・止水管理で水温を保つ。
活着期~	23℃~25℃ 分けつ促進 昼間30℃ 夜間15℃	通常4~6cm ※1	・低温が予想される時は、深水管理で苗を保護する。 ・かんがい水は早朝に行い、止水管理で水温を保つ。


※1：低温や強風等が予想される場合は、草丈の3/4の水深にします。

2 畑作物の栽培管理

(1) 秋まき小麦:粒重・タンパクの充実を図る時期です。

適正な分追肥により品質、収量の向上を目指しましょう。

【施肥窒素量】「ゆめちから」

止葉期  6kg/10a （硫安30kg/10a）

(2) 豆類:は種作業

地温10℃以上確保でき、降霜の恐れがなくなったらは種時期です。晩霜に注意し適期は種に努めましょう。

3 主要野菜の生育状況と技術対策

生育状況や草勢にあわせた追肥とかん水管理をしましょう。

作物名	生育状況	技術対策
トマト	3月定植 ・1段花房収穫中、6～7段開花。 ・5～6段でがく枯れが見られる。 ・育苗時の低温により第1花房着果節位が低い。 ・灰色かび病、萎凋病、かいよう病、アザミウマ類の発生が見られる。	・土壌の湿り具合を確認しながらかん水を行う ・低段に着果した時は3果に摘果する。 ・葉の黄化、しおれ等が見られた場合はJA、普及センターに連絡する。
	4月定植 ・4～5段花房開花中。	
ハウス軟白ねぎ	・12月定植収穫中。 ・タバエ、ハモグリバエ類の発生が見られる。	・育苗期から防除を行い定植ハウスへ病害虫の持ち込みを防ぐ。 ・粘着板を設置し早期防除に努める。 ・ハウス内外の雑草（タネホホ、白クローバなど）処理を徹底する。
ハウス立茎アスパラガス	・春芽収穫～立茎移行期。 ・病害虫の発生は少ない。	

4 畜産 飼料作物生育状況 (5月15日現在)

牧草 : 草丈 31.2cm (+2日)
 飼料用とうもろこし : は種始 5月14日 (±0日)

(1) 草地

- ①収穫時は、刈り取り高は10cm程度と、やや高めにしましょう。(チモシーの新芽を刈り取らない・土砂混入を避けるため、オーチャードも10cmで刈りましょう)。
- ②リードカナリーグラスが多い場合は、嗜好性が落ちやすいため、早刈り(穂ばらみ期、草丈80cm程度:6月上旬頃)で利用しましょう。
- ③堆肥等の施用時期は、サイレージへの混入をリスクを考慮し5月中旬までとしましょう。

(2) 飼料用とうもろこし

雑草の薬剤処理は、薬剤により散布時期が異なりますので確認して、適期散布しましょう。

(3) 家畜飼養

- ①衛生対策:農場畜舎への外部から(人、物、車両)の出入りを制限し、畜舎の各入口には必ず踏み込み消毒槽を設置しましょう。
- ②畜舎内は清掃と石灰塗布を行うなど衛生対策を徹底しましょう。
- ③近年、突発的な気温上昇の傾向が見られています。換気や飼料の栄養濃度を高めるなど、暑熱ストレスを低減しましょう。